

19. 一般外来臨床研修プログラム

1. プログラムの目的と特徴

症候・病態について適切な臨床推論プロセスを経て解決に導き、頻度の高い慢性疾患の継続治療を行うために、特定の症候や疾病に偏ることなく、原則として初診患者の診療及び慢性疾患患者の継続診療を含む研修を行う。

2. 研修内容

一般外来の研修は内科にて行う。なお、小児科、地域医療等の他の診療分野との並行研修を行うこともできる。(専門外来や救急外来、予防接種や健診・検診等の特定の診療のみを目的とした外来は含まない)

3. 研修目標

頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができることとする。

4. 研修医の評価

研修医は随時自己評価を行い、指導医が到達度を適宜チェックし評価する。